

学校だより



令和5年4月7日
横浜市立二谷小学校
校長 矢島 孝幸

「新しいスタート」

学校長 矢島 孝幸

今年は桜の開花が例年より早く、新年度のスタート時は葉桜となってしまいました。数日前まで満開だった桜がもう少し待っていてくれたらと思うと残念です。

令和5年度が始まりました。新たな活動がスタートします。静かな学校が再び息を吹き返します。キッズクラブに通所し、運動場で元気に遊んでいる子どもたちの姿を見ていると、不思議と力がみなぎってくる感じがします。春休み中の学校に今ひとつ活気を感じないのは、主役である子どもたちの存在がないからです。子どもたちが登校することで、学校は生まれ変わります。活気があり、明るさが生まれ、全く違う校舎に変身するような気がします。やはり、子どもたちの姿があつての学校だと改めて実感します。素晴らしい子どもたちの姿こそが学校です。



本日、新たに64名の新生を迎えました。一人一人が緊張した面持ちの中に大きな期待を秘めている姿を感じます。小学校に前向きな思いを抱いて入学式に参加したことと思います。小学校入学という大きな節目の初日を立派に過ごそうと頑張っている姿を感じるとともに、一人一人の素敵な姿に嬉しい気持ちになりました。一日も早く、学校に慣れて笑顔で元気に活動できるようになることを期待します。そして、「学校大好き！」という思いをもてるよう、全職員で大切に育てていきたいと思っています。

2年生～6年生は、1学年進級しました。様々な緊張や不安もあるでしょうが、新しい学級の仲間たち、新しい担任や教職員との出会いに心を躍らせていることでしょう。誰もが新たなスタートに期待をしていると思います。子どもたちの前向きな気持ちを実現できる学校づくりを進めていけるよう、全力を尽くしてまいります。学校の主役である子どもが輝く学校づくりを目指します。

昨今の状況から、令和5年度はコロナ禍とは少し違う教育活動を進めていく年度だと実感しています。この三年間で工夫・改善した活動を振り返り、『(子どもたちにとって) 何ができるのか』『(子どもたちのために) どのように取り組むべきか』を合言葉に全職員で子どもにとって価値のある教育活動を考えながら一年間取り組んでいきます。そして、保護者・地域の皆様に子どもたちの姿が伝わるよう、また、本校の教育活動をご理解いただけるよう、発信していきたいと思っています。

今年度も、本校児童の健やかな育成に向け、ご支援とご協力をお願いいたします。